

雲ノ平・双六岳

Hiya

期 日：2018年7月16日（月）～19日（木） 連日晴れ

コース：新宿【前夜】22:25…折立【16日】7:28/40 →太郎平小屋 12:51 / 【17日】5:25→薬師沢 8:17/30 →ア
ラスカ庭園 11:40/15→雲ノ平山荘 13:54/ 【18日】5:30 →黒部原流渡渉 8:25→三侯蓮華岳 10:52/11:45→
双六岳 13:20/30→双六山荘 15:02/ 【19日】5:00→鏡平 7:14/20→登山口 10:38/44→新穂高 12:19

参加者：単独0

昨年悪天のため行けなかった雲ノ平を46年振りに訪れた。前回は烏帽子から入ったが、今回は太郎平から入った。



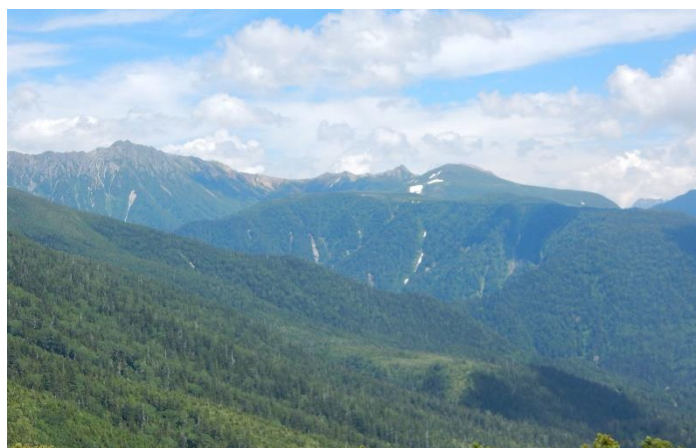
富山から折立へのバスは乗客約15人と少ない



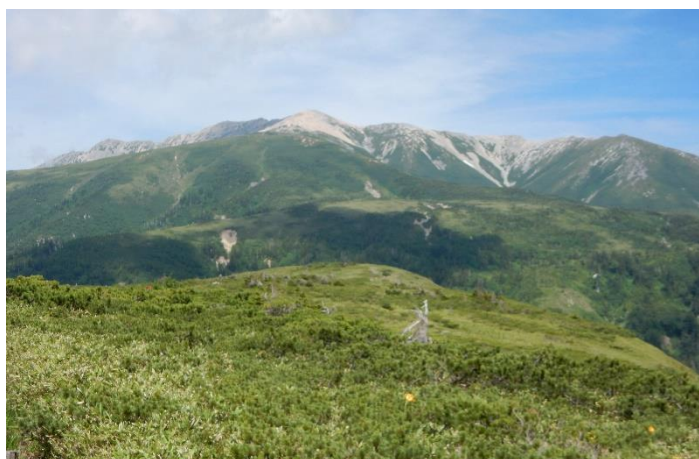
樹林帯を抜けると草原が広がり、その先には山小屋が。



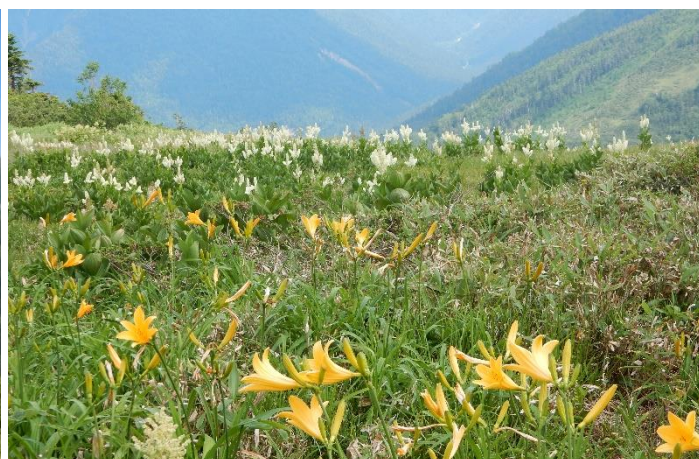
5時間程で太郎平小屋到着。宿泊者約60人。



正面に水晶岳、雲ノ平を望める。



左に薬師岳



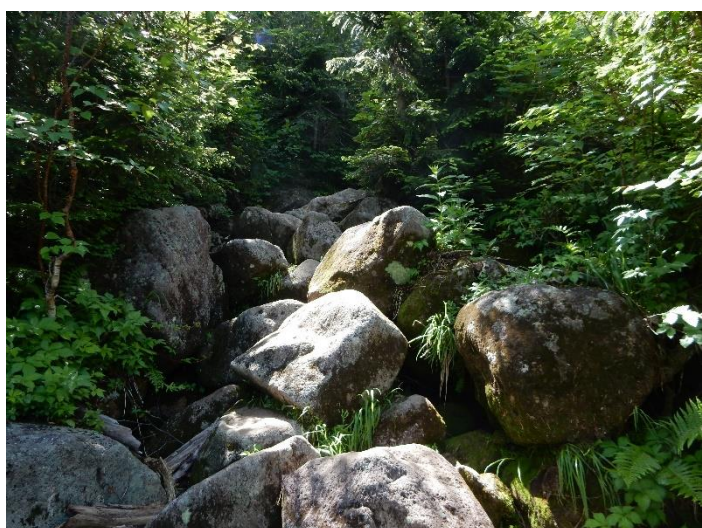
周辺にはお花畑



2日目、 先ずは薬師沢に向う



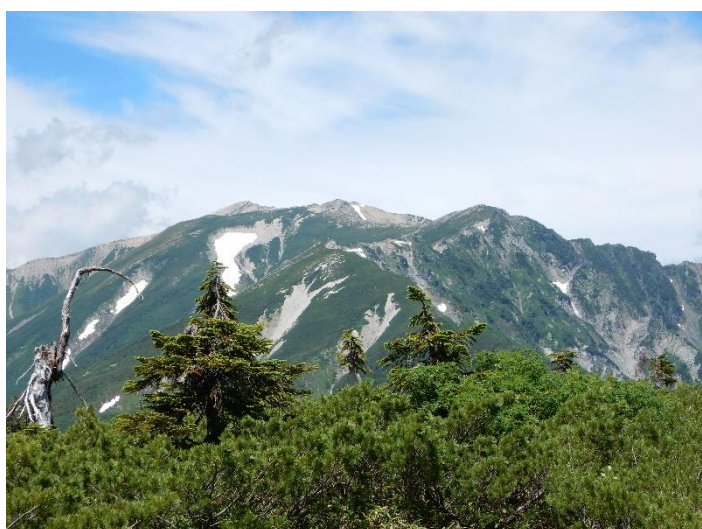
薬師沢小屋は奥の廊下と薬師沢の合流地にある



雲ノ平への登りは急斜面の直登。
後半は花崗岩のゴロゴロ石の連続



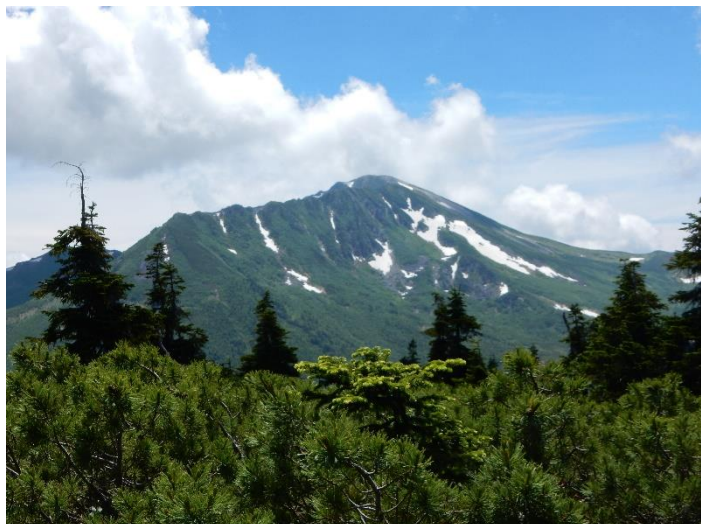
約400m登って木道末端に



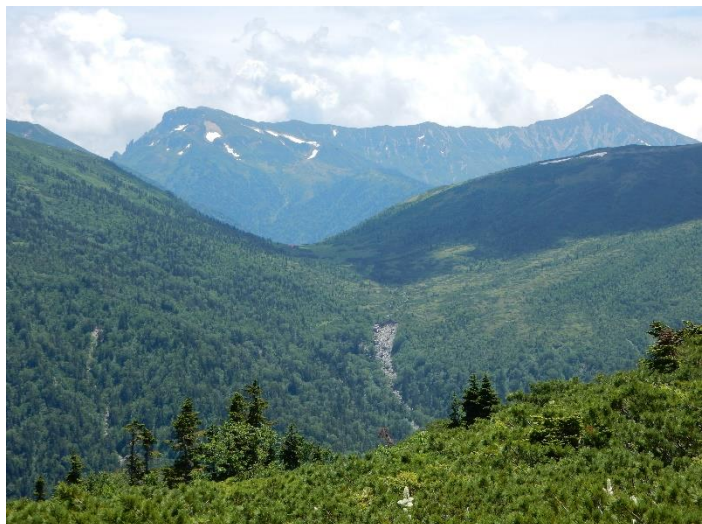
薬師岳が見えて来た



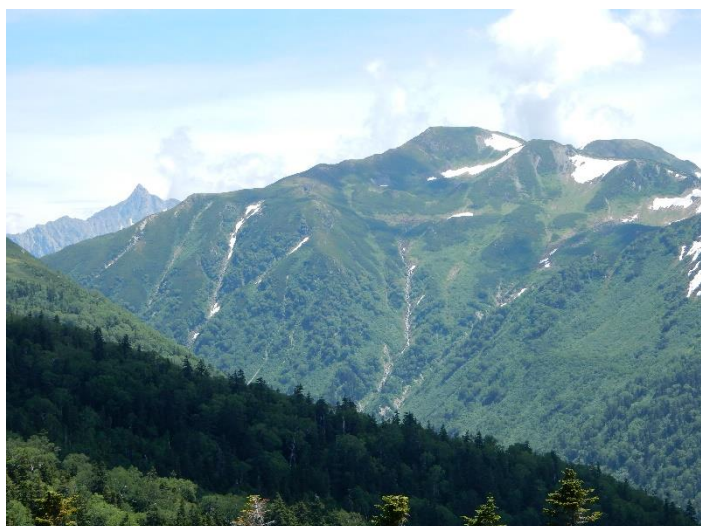
木道を行く。登山者は極めて少ない。



黒部五郎岳。見慣れた姿と異なる。



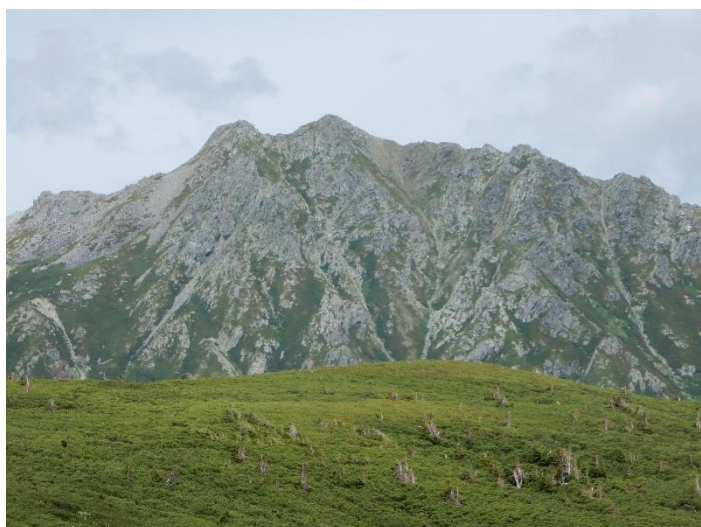
黒部五郎と三俣蓮華の間に笠ヶ岳への稜線



三俣蓮華岳、左奥に槍ヶ岳



左奥に祖父岳、右側に祖母岳



水晶岳



雲ノ平山荘まで8時間半。宿泊者約35人。
8年前建替、見事な木造構造、モダンで簡素な内部。



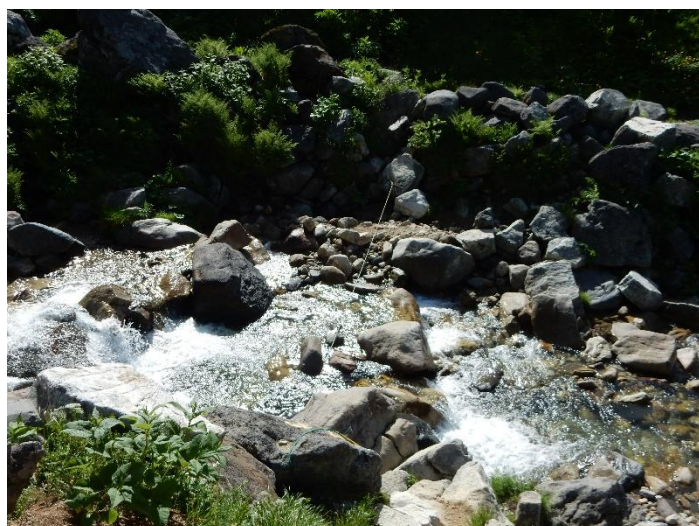
3日目、太陽が氷晶岳より登るなか、
先ずは黒部原流を目指す。



第二雪田の左縁沿いを下りる。迷い易く要注意。



急斜面を黒部原流に下りる。



ロープ頼りに黒部原流を渡渉。昔の記憶と一致しない。



三俣峠付近から見上げる三俣蓮華岳山頂部。



山頂は北アのほぼ中央にあり、全方位山々に囲まれている。
昼食。年4、5ヶ月をキャンピングカーで全国の山を歩いて15年という老夫婦と話し込む。



広い台地状の雲ノ平、その先に薬師岳



鷲羽岳と祖父岳の間から黒部川が始まる。



遠くに槍穂の連峰



カールを広げた黒部五郎岳



丸山に向う。右奥に笠ヶ岳



北側から見る双六岳山頂部



双六岳山頂。数分後ガスに包まれた。



山頂から南東に長く伸びる、広々とした稜線。
稜線ルートを行くが、夏道は雪渓危険で通行止め。



稜線を途中まで戻り、中道に合流する春道を下る。



9時間半かけて双六小屋到着。宿泊客約65人。



4日目、4時半からの朝食を済ませ、下山開始。



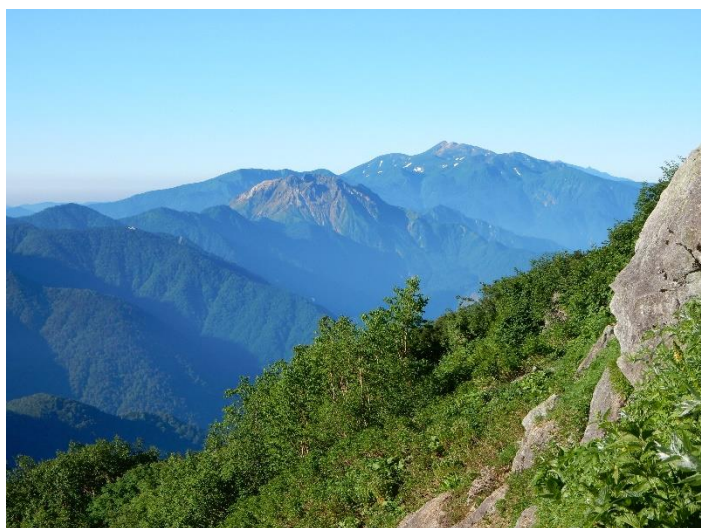
一旦尾根に出ると、向い側に槍穂連峰



右後方には、双六岳の丸みを帯びた長い稜線



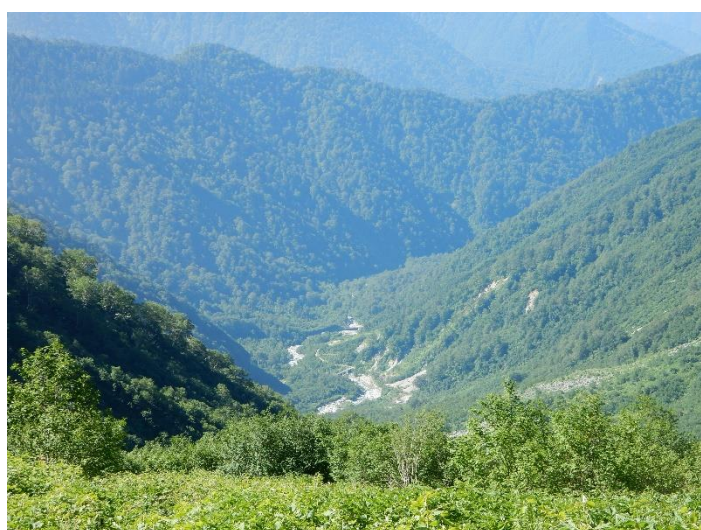
前方には、笠ヶ岳へと続く抜戸岳の尾根



焼岳とその先に乗鞍岳



鏡平山荘。付近には池が多い。



遙か下方に登山口らしき所が見えてきた。



7時間20分かけ新穂高温泉到着。
入浴、食事後、バス・電車を乗り継ぎ20時頃帰宅。